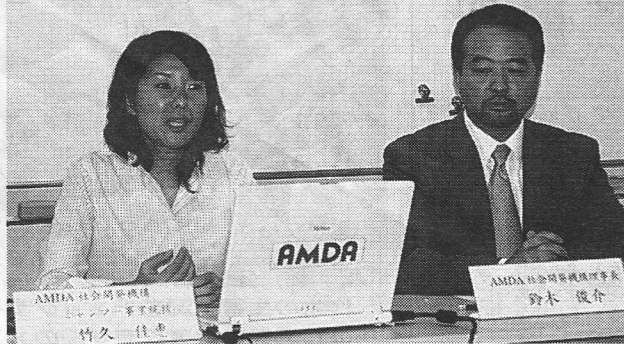


は先進国に、適応のため
の資金や技術協力を求めて
いる。

ミャンマーの情勢とAMDAの活動再開について

ミャンマー-事業
事業統括 竹久佳恵

ミャンマーでの活動を報告するAMDAの竹久
事業統括者(左)。右は同席した鈴木俊介理事



ミャンマー人道支援

安全確認し再開

岡山 AMDA経緯報告

軍事政権の反政府デモ
制圧に伴う混乱により、

ミャンマーでの人道支援
活動を一時中断していた
国際医療ボランティア・
AMDA(本部・岡山市
櫛津)は十三日、同市内
で会見を開き、活動停止
から再開に至るまでの経
緯を報告した。

同国の最大都市ヤンゴ
ンの事務所で活動する竹
久佳恵事業統括者が、一
時帰国して報告。「農村
で村民を集めて母子保健
事業などを行うことが、
軍政から反政府側とみな
され、スタッフや村民に
危険の及ぶ恐れがあっ
た」と、今月一日に四カ
所の事務所を閉鎖した理
由を説明した。

事態沈静化を受け、各

地の現地スタッフと電話
で連絡を取り合い、安全
を確認して事務所は九日
から再開したという。
竹久事業統括者は「情
勢は予断を許さないが、
貧困に苦しむ人たちを支
援する草の根的な活動を
続けたい。そのためにも
政府開発援助(ODA)
を削減しないでほしい」
と訴えた。(民直弘)